



2013年の旧正月をむかえ、みなさまいかがお過ごしでしょうか。  
 近年少しずつ動き出した「島おこし」の活動が、みなさんの目に留まり、耳に入る機会も多くなってきたことと思います。池間島で起こる島おこしの出来事を通信にしてみなさんと共有したいとの思いから、「すまだていだより」を定期的に発行していくことになりました。池間島だからこそできる、池間島でしかできないことを、みんなと一緒に！という理念のもと、島のみなさんが主役となっ

# すまだてい だより

発行者  
NPO 法人いけま  
福祉支援センター  
電話：75-2870

平成23年から開始した民泊事業では、これまでに計16校、のべ2387名の子ども達  
 が池間島を訪れました。「民泊」とは、島のおじいやおばあ、おとーやおかーの家庭に泊まり、島のあたりまえの暮らしを体験しながら心の交流を深めるという取り組みです。  
 池間島では、高齢者世帯を中心に36軒(平均年齢69.3歳)の家庭で子どもたちの受け入れを行っています。島の高齢者は訪れた子供たちから元気をもらい、子どもたちはおじいやおばあから多くのことを学びます。さらに、島を訪れた子どもたちは、花植えや海岸清掃など島おこしにも協力するという循環が生まれています。

## 民泊が本格的にスタートしました

様々な活動の記録として、このおたよりを編集・発行して参りますのでよろしくお願いたします。

**14校  
2387名の  
子どもたちが  
来島!**

日程	泊数	学校名	人数
H23.6	2泊	糸満市立糸満南小学校	29名
H23.11	2泊	兵庫県立神崎工業高校	60名
H24.6/18-20	2泊	岡山県立岡山城東高校	233名
H24.7/4-5	2泊	八重瀬町立東風平小学校	92名
H24.9/5-6	1泊	山口県立田布施農工高校	102名
H24.10/14-15	1泊	大阪府立香里ヶ丘高校	173名
H24.11/8-10	2泊	滋賀県立石山高校	197名
H24.12/2-4	2泊	滋賀県立八幡工業高校	130名
H24.12/5-6	1泊	大阪府立淀川工科高校	182名
H24.12/8-10	2泊	西宮市立西宮東高校	169名
H24.12/14-16	2泊	大阪府立山田高校	200名
H24.12/17-19	2泊	大阪府立長尾高校	157名
H25.1/16-18	2泊	兵庫県立龍野北高校	183名
H25.1/21-23	2泊	兵庫県立三田西陵高校	189名
H25.1/23-25	2泊	大阪府立阿武野高校	150名
H25.1/25-27	2泊	大阪府立かわち野高校	141名



畑や海の仕事や料理体験をして交流を深めています。

# 高齢者が主役の島おこし

池間島で民泊受け入れを開始した最初のきっかけは、「島の子は、犬や猫は養っても、年寄りや捨てる」という島の高齢者からの衝撃的な言葉でした。どうしてかと問うと、年寄りは「口うるさく役に立たないから」。

この言葉から、高齢者こそが主役となって役割を発揮できる場を作ることにはできないか？という模索がはじまりました。戦争体験者であり、自然とともに生きてきた島の高齢者の知恵や経験・技術からは、学ぶべきものがたくさんあります。核家族化が進む都会の子ども達にとって、このような高齢者と接することは、学校では学ぶことができない「生きる力」や「命の大切さ」を学ぶ場になると考えました。



そこで、高齢者のみなさんを主役とした島おこしへと向かうため、民泊受け入れをスタートしました。

高齢者の出番や役割をつくることで、高齢者のみなさんを元気にすること(介護を受ける年齢を遅らせること)。島で仕事をつくることで子どもたちや孫たちを島に呼び戻し、高齢者の暮らしを支えながら、島の伝統文化や行事を継承すること。人と人、人と自然のつながりを豊かにすることで、真の「島おこし」を実現させること。こんなことを目指しながら、池間島では民泊事業に取り組んでいます。民泊についてのお問い合わせはNPO法人いけま福祉支援センター(75-2870)。

## 人材カルテづくりはじまります！

池間島の資源は他でもない高齢者のみなさんの知恵と豊かな自然です。島で暮らししてきたみなさんの知恵や経験・技を残し、次の世代に引き継いで活かしていくために、琉球大学の佐々木健志氏がインタビュー調査を始めます。みなさんが、昔どのような暮らしをしていたのか、みなさんが持っている技に関して、お話を聞かせ下さい。

